

家畜の生産性向上にかかる暑熱対策

今年も暑い季節が到来します。気象庁が発表した向こう3か月(6、7、8月)の天候の見通しは下記のとおりです。家畜の生産性が損なわれることのないよう、早め早めの暑熱対策をよろしくお願いいたします。

月別平均気温と降水量(西日本)

	6月	7月	8月
平均気温	<u>高い</u>	ほぼ平年並	ほぼ平年並
降水量 (日本海側)	平年並か少ない	平年並か多い	平年並か多い

月別天候(西日本)

6月	7月	8月
前線や湿った空気の影響を受けにくく、平年に比べ曇りや雨の <u>日</u> が <u>少ない</u> でしょう	前線や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の <u>日</u> が <u>多い</u> でしょう	前線や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ <u>晴れ</u> の <u>日</u> が <u>少ない</u> でしょう

◆6月は高い気温が予想され、直射日光も強く、暑熱被害が早々に出る可能性があります。被害が出た際には家畜保健衛生所へ速やかにご連絡願います。

◆具体的な暑熱対策は裏面を参考としてください。

＜家畜の生産性向上にかかる暑熱対策＞

畜舎・鶏舎内の温度上昇等への対応

- ・直射日光の遮断、夜間外気の取込
- ・西日の遮光
- ・屋根、畜舎、吸気口への散水、噴霧
- ・家畜への送風、散水
- ・ビニールカーテン吊り下げ
- ・毛刈り（牛）
- ・屋根、壁、床への断熱材、断熱塗装
- ・換気扇、送風ダクトによる強制換気



畜舎屋根へ石灰塗布することで直射日光の影響が緩和されます



畜舎内の送風と散水を有効に活用すると5度程度温度が下がります

畜舎・鶏舎周りの温度上昇の抑制

- ・日陰の整備
- ・寒冷紗の設置
- ・散水



畜舎周辺の地面の高温化は散水で緩和されます

家畜のコンディションの維持

- ・十分な飲水の確保、飼料の変敗防止
- ・適正な飼養密度の確保
- ・飼料は涼しい時間帯に給与、給与回数を増やす
- ・品質の高い粗飼料の給与、ミネラル等の補給（牛）
- ・ガーリック、ビタミンA、D、Eの利用（豚）
- ・重曹、塩化カリウム、ビタミンCの投与（鶏）

（農林水産省資料参考）